

新約聖書 ヨハネによる福音書 16 章 12 節—15 節（新共同訳）

¹² 言っておきたいことは、まだたくさんあるが、今、あなたがたには理解できない。¹³ しかし、その方、すなわち、真理の霊が来ると、あなたがたを導いて真理をことごとく悟らせる。その方は、自分から語るのではなく、聞いたことを語り、また、これから起こることをあなたがたに告げるからである。¹⁴ その方はわたしに栄光を与える。わたしのものを受けて、あなたがたに告げるからである。¹⁵ 父が持っておられるものはすべて、わたしのものである。だから、わたしは、『その方がわたしのものを受けて、あなたがたに告げる』と言ったのである。」

※第 1 朗読と第 2 朗読は末尾に掲載

説教「真理の霊」

本日の福音書には、イエスが十字架上で殺される前の晩に弟子たちに語った「告別説教」と言われる、弟子たちへの教えの一部が記されています。

イエスは弟子たちにこう言います。「言っておきたいことは、まだたくさんあるが、今、あなたがたには理解できない」（ヨハネ 16:12）。

イエスとの地上における別れの時が迫ってきても、弟子たちにはイエスの教えの真意を悟ることができません。教え半ばにして、イエスは地上を去っていきます。いつもイエスと共にいた弟子たちにとって、イエスがいなくなることは、将来への不安にも結びつきます。

そんな弟子たちに、様々な教えの意味や、ご自身が弟子たちを残して地上を去る意味が、今はまだ分からなくても、あとで分かるようになるとイエスは言います。

イエスのなしたわざは、イエスが天に昇られたあとに地上に降る真理の霊によって引き継がれていくと、イエスは弟子たちに伝えます。神の真理は、人間の知恵や力では理解することができません。人は、神の真理を、真理の霊である聖霊によって正しく知ることができるのです。

さらにイエスはこう言います。「その方は、自分から語るのではなく、聞いたことを語り、また、これから起こることをあなたがたに告げるからである」(ヨハネ 16:13)。

その方とは、聖霊のことです。聖霊は自ら語ることはしません。イエスと私たちをつなぐパイプのように、主イエス・キリストの言葉を私たちに取りついでくださるのです。

それまで弟子たちは、人間の肉体をもったイエスを見ていました。地上で肉体をもつイエスの愛と恵みと共に、イエスと日々を過ごしていました。

聖霊は、人間の肉体の限界を超えて天に昇られた主イエスの栄光を表し、イエスが私たちと共に今も生きておられることを示します。

聖霊は、私たちに天の栄光を示します。また聖霊は、私たちにキリストを示してくださいます。

聖霊を受け入れると、私たちはキリストに満たされます。キリストの栄光を見て、キリストに満たされます。イエスの栄光を見ることのうちには常に聖霊が働いているのです。

ルカ福音書 11 章 13 節にはこうあります。「天の父は求める者に聖霊を与えてくださる」。

聖霊は、私たちに主イエスの栄光を与えます。聖霊こそが、イエスの地上の生涯に隠されていた栄光を私たちに与えるのです。神の御子イエス・キリストを通して実現した救いの真理を、聖霊が私たちに悟らせ、私たちの救いを完成させてくださるのです。

ヨハネ福音書では、イエスが十字架で「成し遂げられた」と言われてから息を引き取られたと記されています(ヨハネ 19:30)。「成し遂げられた」とは、主イエス・キリストの救いの完成を宣言する言葉です。

「救いの完成」とは何でしょうか。それは「完全な罪のゆるし」と「完全な体のよみがえり」という救いが、神によって私たちに与えられることを意味して

います。

ローマの信徒への手紙 7 章 24 節にパウロの言葉がこう記されています。「わたしはなんと惨めな人間なのでしょう。死に定められたこの体から、だれがわたしを救ってくれるでしょうか」。

このパウロの叫びのように、私たち人間は死の体からの救いを求めています。限りあるこの肉体をもって生きる苦しみの中で、私たちは私たちの体が完全にあがなわれることを待ち望んでいるのです。

私たち人間は、日々の暮らしに追われ、些細なことから大きなことにわたって様々なストレスを感じながら毎日を生きていると思います。

そんな中で、神のことや「救いの完成」について意識を向ける余裕などないと感じることもあるかもしれません。

ですが、そんな時こそ、ゆっくりと自分の心と向き合う時間を作り、神のことや、神の救いの完成に意識を合わせてみてください。

この地上の生活において、心が痛むこと、心が傷つくこと、体の不調や負傷によって苦しみを感じる事など、様々なことがあるかもしれません。

それでもなお、私たちは、この地上において、主イエス・キリストが遣わしてくださった聖霊と共に、主イエスと共に、希望と喜びをもって生きていきましょう。

お祈りをいたします。

天の父なる神様。あなたは、ご自身の御子の十字架の苦しみを通して、私たち人類の救いを成し遂げてくださいました。私たちが、あなたの隠された秘義を、聖霊を通して悟り、日々を生きていくことができますように。救い主 イエス・キリストによって祈ります。アーメン

***** 説教ここまで *****

旧約聖書 箴言 8 章 1 節—4 節と 22 節—31 節（新共同訳）

¹ 知恵が呼びかけ／英知が声をあげているではないか。² 高い所に登り、道のほとり、四つ角に立ち ³ 城門の傍ら、町の入り口／城門の通路で呼ばわっている。
⁴ 「人よ／あなたたちに向かってわたしは呼びかける。人の子らに向かってわたしは声をあげる。
²² 主は、その道の初めにわたしを造られた。いにしへの御業になお、先立って。
²³ 永遠の昔、わたしは祝別されていた。太初、大地に先立って。²⁴ わたしは生み出されていた／深淵も水のみなぎる源も、まだ存在しないとき。²⁵ 山々の基も据えられてはおらず、丘もなかったが／わたしは生み出されていた。²⁶ 大地も野も、地上の最初の塵も／まだ造られていなかった。²⁷ わたしはそこにいた／主が天をその位置に備え／深淵の面に輪を描いて境界とされたとき／²⁸ 主が上から雲に力をもたせ／深淵の源に勢いを与えられたとき／²⁹ この原始の海に境界を定め／水が岸を越えないようにし／大地の基を定められたとき。³⁰ 御もとにあって、わたしは巧みな者となり／日々、主を楽しませる者となって／絶えず主の御前で樂を奏し／³¹ 主の造られたこの地上の人々と共に樂を奏し／人の子らと共に楽しむ。

新約聖書 ローマの信徒への手紙 5 章 1 節—5 節（新共同訳）

¹ このように、わたしたちは信仰によって義とされたのだから、わたしたちの主イエス・キリストによって神との間に平和を得ており、² このキリストのお陰で、今の恵みに信仰によって導き入れられ、神の栄光にあずかる希望を誇りにしています。³ そればかりでなく、苦難をも誇りとします。わたしたちは知っているのです、苦難は忍耐を、⁴ 忍耐は練達を、練達は希望を生むということ。 ⁵ 希望はわたしたちを欺くことはありません。わたしたちに与えられた聖霊によって、神の愛がわたしたちの心に注がれているからです。

教会讃美歌 184 番「きよき石よ」、131 番「聖なる聖なる」、200 番「まことの神よ」